

**問題**

MS ゴシックや MS 明朝で作図された文字を太く印刷したい。

**対象製品**

V-nasClair・V-nas シリーズ Ver2020～

**回答**

Bold(太字)機能はございませんが、塗りハッチングに変更して太く表示することが可能です。

**操作手順**

対象コマンド：

[V-nas 標準モード]：[編集] タブー [文字] カテゴリ 『アウトライン化』 コマンド

[V-nas クラシックモード]：『編集-文字-アウトライン化』 コマンド

※専用 CAD シリーズ、V-nas・V-nasClair Ver2019.20 以前ではご利用いただけません。

MS ゴシックや MS 明朝等の TrueType フォントは、フォント自体で線幅情報を保持しているため、V-nas の線幅設定は無効となります。

つまり、MS ゴシックの文字の線幅が、[0.00]でも[0.50]でも印刷結果は同じになります。

文字の太さを変更できるのは V-nas 固有のベクトルフォント「標準ベクトル」のみになります。

	線幅0.00	線幅0.50
MS ゴシック	あいうえお	あいうえお
標準ベクトル	あいうえお	あいうえお

V-nas・V-nasClairVer2020 にて標準ベクトル以外のフォントをご利用の場合は以下の方法で塗りハッチングに変更し外枠線を追加してください。

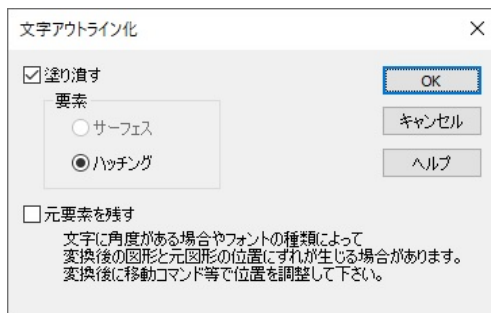
※ハッチング要素となるため文字列の編集はできなくなります。

**アウトライン化コマンドで文字列を太くした場合**

あいうえお → あいうえお

- 1、『編集－文字－アウトライン化』コマンドを実行します。
- 2、文字列を選択し、右クリックで確定します。
- 3、【文字アウトライン化:ダイアログ】にて[塗りつぶす]チェックボックスにレ点を入れて、[ハッチング]にラジオボタンを合わせ、[OK] ボタンをクリックしてください。

※V-nas (2次元CAD) ではサーフェス要素は使用できないためグレーアウトします



- 4、『ウィンドウ－操作モード－グループ内要素の選択』コマンドが有効（アイコンが橙色）になっていることを確認し、『編集－変更』コマンドを実行します。要素選択時に文字列全体を範囲選択するとまとめて編集が可能です。
- 5、【変更:ダイアログ】にある[共通]タブにて[外枠線を描画する]チェックボックスにレ点を入れて線幅を設定し[OK]ボタンでダイアログを終了します。